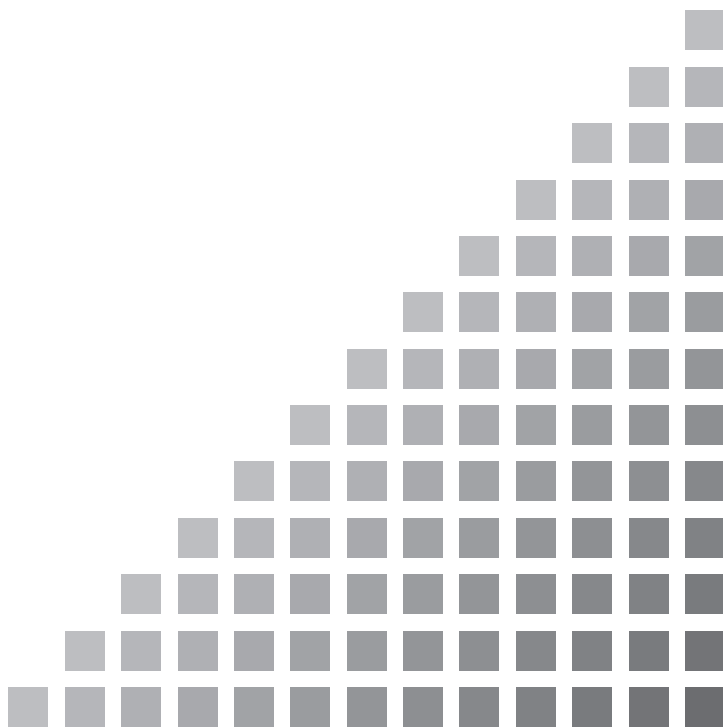
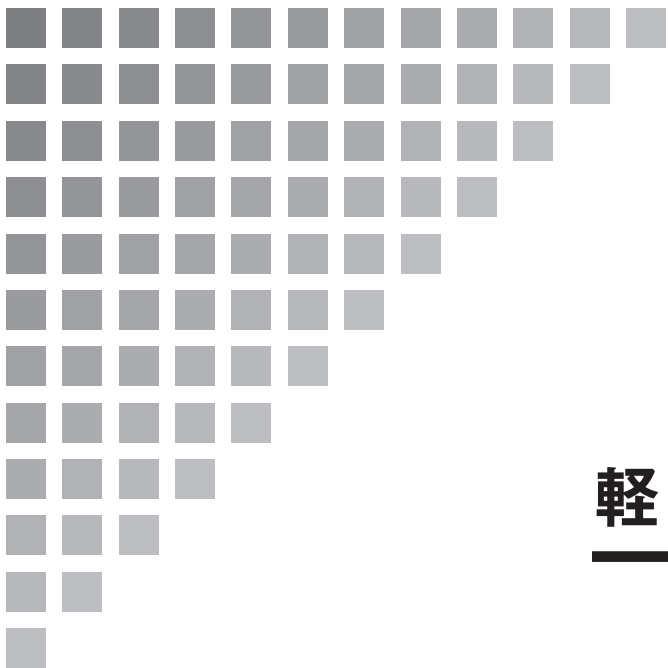




取扱説明書

軽量床衝撃音発生器

FI-01



この説明書の構成

この説明書は、軽量床衝撃音発生器 FI-01 の機能、操作方法などについて説明しています。また、iii ページ以降に、安全に関わる注意事項が記載されています。必ずお読みください。

この説明書は次の各章で構成されています。

概要

本器の概要を記載しています。

各部の名称と機能

スイッチや端子、ハンマ、調整脚などの名称と機能を簡単に説明しています。

準備

本器を使用する前の準備項目について記載しています。また、ハンマヘッドやヒューズの交換についても説明しています。

操作

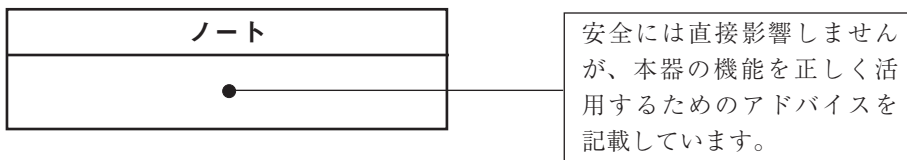
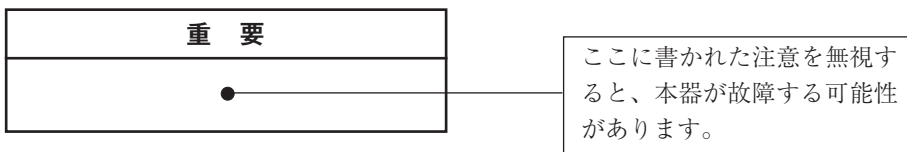
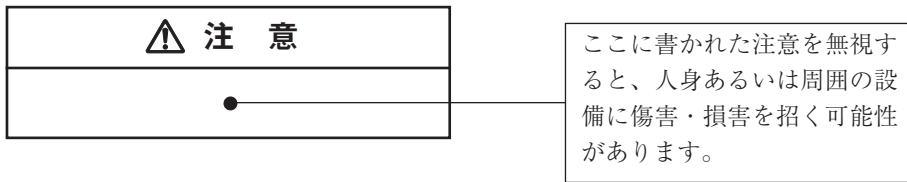
本器の操作手順と手動つまみの使用方法について記載してあります。

仕様

本器の仕様を記載しています。

安全にお使いいただくために

この説明書の中では、事故防止上必要と思われる部分に、下記のような表示をして注意を喚起しています。生命、身体の安全を確保し、本器および周辺の設定などの損害を防止するために必要な事柄です。



取り扱い上の注意

- 操作は必ず取扱説明書に従ってください。
- 本器は質量が約 17.5 kg あります。運搬、移動のときは複数名で行うなど、安全に充分注意してください。
- 本器底面のモータ部分は、連続運転すると発熱します。安全上は問題ありませんが、手などで直接触れないでください。
- 本器を落下させたり、振動・衝撃を加えないように注意してください。
- 本器の使用温湿度範囲は $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ 、 $10 \sim 90\% \text{RH}$ です。
水やほこりのかかる場所や高温・高湿・直射日光下では保管しないでください。
また、塩分・硫黄分・化学薬品・ガスなどにより悪影響を受ける恐れのある場所では使用、保管しないでください。
- 使用後は必ず電源を切ってください。
コードやケーブルを取り外すときは、コードを持って引き抜くなど無理な力を加えずに、必ずプラグまたはコネクタを持って作業してください。
- 本器の汚れを取り除くときは、乾いた軟らかい布、またはぬるま湯で良く絞った布を使用してください。ベンジンやアルコールは使用しないでください。
- 機器を分解、改造しないでください。
故障と思われる場合は、手を加えずに、販売店または当社サービス窓口(裏表紙参照)までご連絡ください。

⚠ 注意

本器の質量は約 17.5 kg です。持ち運びの際は充分注意してください。

⚠ 注意

電源をオンにしたときは、ハンマの下に手や足を入れないでください。

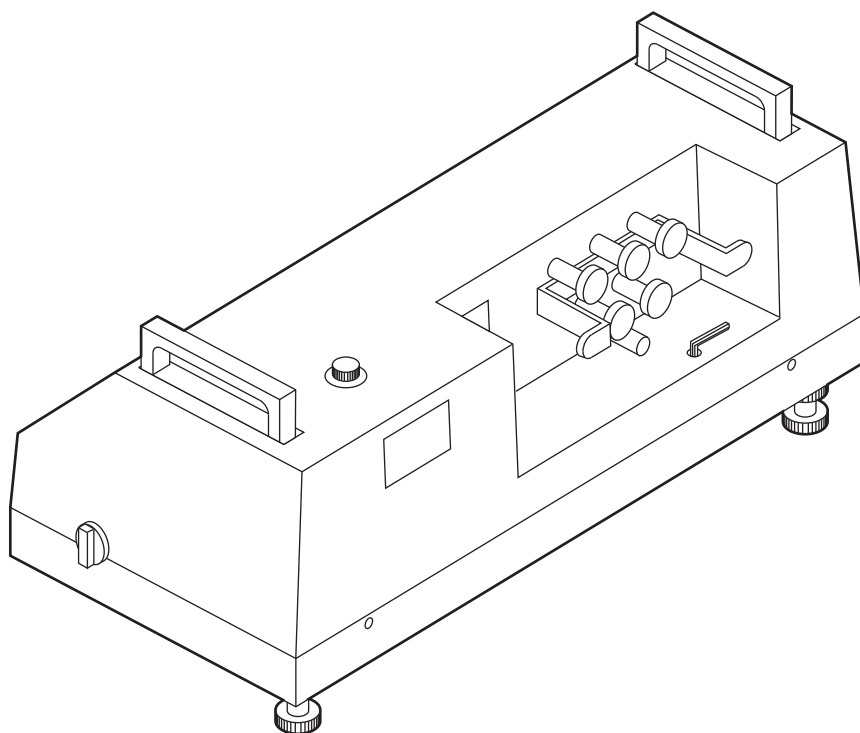
目 次

安全にお使いいただくために.....	iii
概 要.....	1
各部の名称と機能.....	2
正 面.....	2
準 備.....	4
保護板の取り外し.....	4
電源コードの接続.....	5
本体高さの調整.....	6
ハンマヘッドの交換方法.....	7
ヒューズの交換方法.....	8
操 作.....	10
手動つまみの操作.....	10
操作手順.....	11
仕 様.....	12

概要

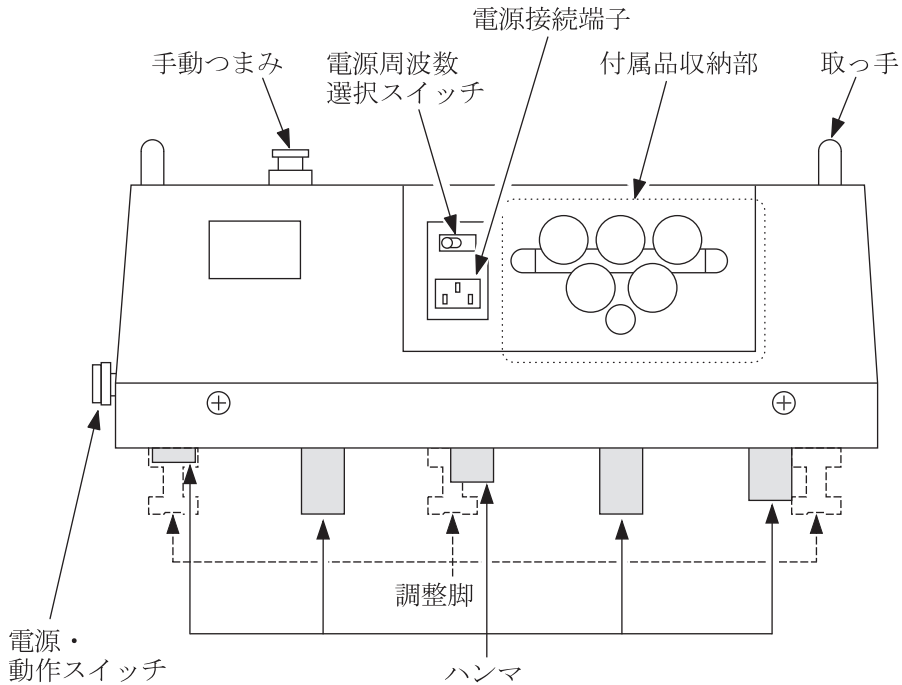
FI-01 は、床衝撃音レベル測定に関する JIS A 1418-1 : 2000 および ISO 140-7 : 1998 に適合した軽量床衝撃音発生器です。

直径 3 cm の円柱型ハンマが 10 cm 間隔で 5 個配列されています。ハンマヘッドはステンレス (出荷時に装着済) および旧 ISO 規格 (ISO 140-7 : 1978) のゴム (付属品) のいずれかを選択できます。ハンマ質量は約 500 g です (ハンマヘッドを含む)。衝撃回数は 10 回/秒で、床面衝撃速度は 88.5 cm/秒です。



各部の名称と機能

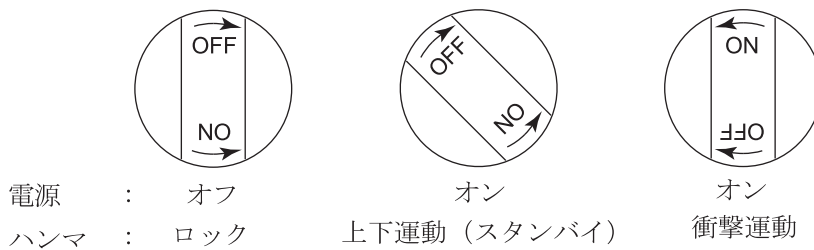
正面



電源・動作スイッチ

電源のオン・オフ、ハンマの上下動作(スタンバイ)、衝撃動作のオン・オフを行います。

電源・動作スイッチのつまみの位置による機能は下図のとおりです。



⚠ 注意

電源・動作スイッチをオンにしたときは、ハンマの下に手や足を入れないでください。

手動つまみ

ハンマの上下動作を手動で行います。

電源周波数選択スイッチ

本器を使用する地域の電源周波数 (50 Hz または 60 Hz) に合わせます。

電源接続端子

AC 100 V 電源に接続します。

付属品収納部

旧 ISO 規格 (ISO 140-7 : 1978) ゴムハンマヘッド、高さゲージ、六角ドライバ、電源コードを収納します。

取っ手

本器を運搬するときはこの取っ手を持って運搬してください。

ハンマ

規定の速度で落下 (88.5 cm/秒) し、床に衝突します。

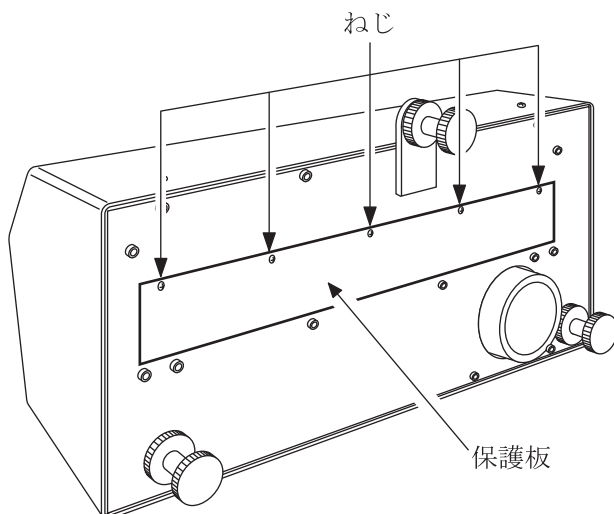
調整脚

本体の高さを調整します。

準 備

保護板の取り外し

初めて使用する場合は、底面にある保護板のねじ5本を外して保護板を取り外します。



重要

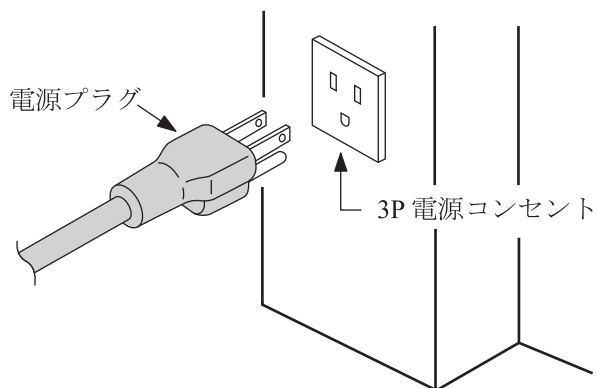
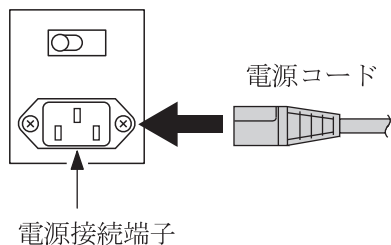
本器を輸送する場合は、必ず保護板を取り付けてください。

ノート

保護板およびねじ(5本)は大切に保管してください。

電源コードの接続

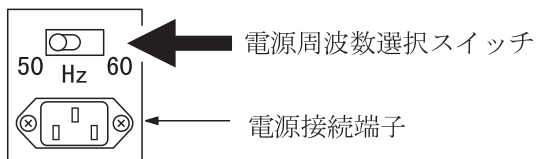
電源・動作スイッチがオフの状態（「OFF」が上）であることを確認した後、電源接続端子に電源コードを接続し、電源プラグを 3P 電源コンセントに差し込みます。



重要

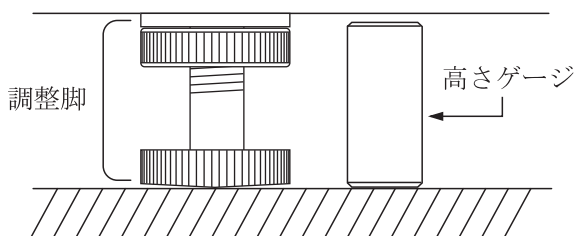
感電事故防止のため必ずアース付きの 3P 電源コンセントに接続してください。

本器を使用する地域の電源周波数（50 Hz または 60 Hz）に電源周波数選択スイッチを合わせます。

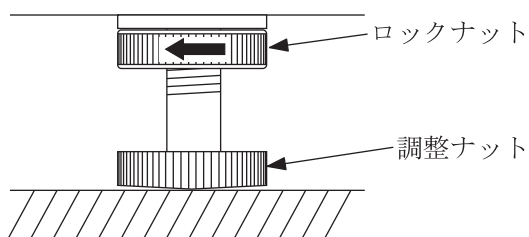


本体高さの調整

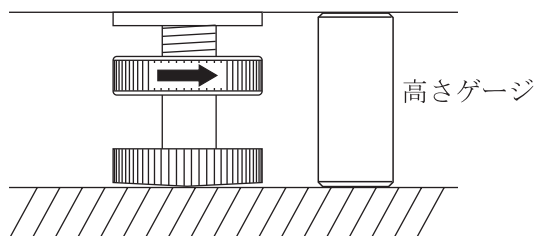
1. 衝撃音を与える床の上に本器を置きます。
2. 付属品収納部にある高さゲージを反時計方向に回して取り外します。
3. 底面にある調整脚の近くに高さゲージを置きます。



4. 調整脚のロックナットを矢印方向に回して緩め、調整ナットを左右に回して高さを合わせます。



5. ロックナットを矢印方向に回して固定します。

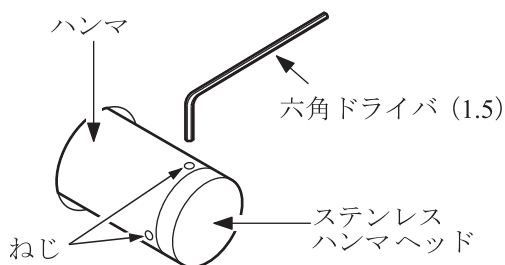


6. 調整脚 3 本とも同様に調整、固定します。

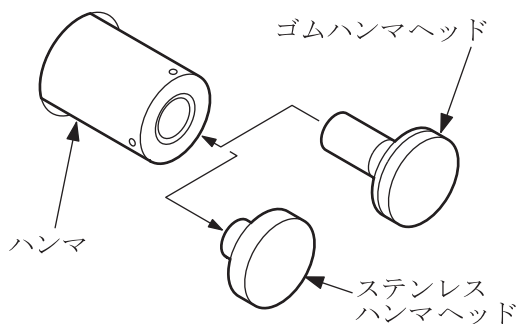
ハンマヘッドの交換方法

本器には、JIS A 1418-1：2000 および ISO 140-7：1998 に基づいたステンレスのハンマヘッドが取り付けられています。旧 ISO 規格 (ISO 140-7：1978) に基づくゴムハンマヘッドを使用する場合は、以下の手順で交換してください。

1. 本器を静かに横に寝かせます。
2. ゴムハンマヘッドを付属品収納部から外します。
3. 出ているハンマのハンマヘッドを固定しているねじ2本を六角ドライバ (1.5) で緩め、ハンマヘッドを外します。



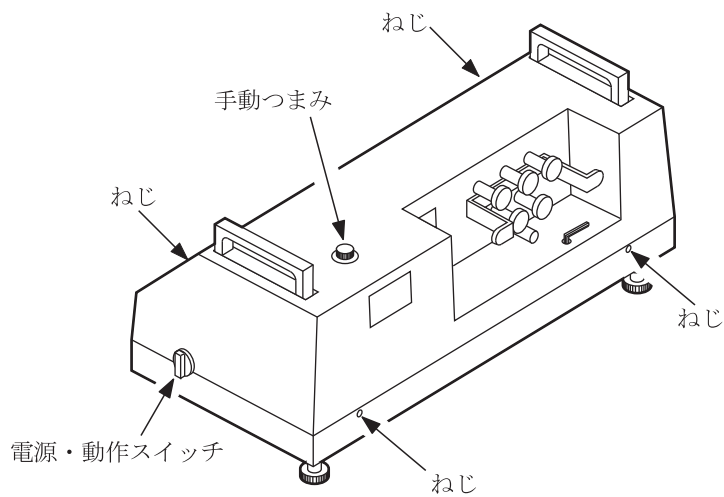
4. ゴムハンマヘッドをハンマに差し込み、ねじで固定します。



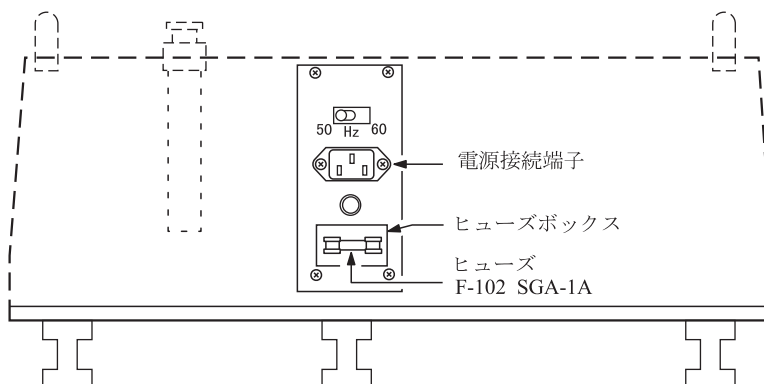
5. 手動つまみを回しながら他のハンマを引き出し、ハンマヘッドを全て交換します。

ヒューズの交換方法

1. 電源コードのプラグを電源コンセントから抜きます。
2. 本体ケースを止めてあるねじ4本をプラスドライバで外します。
3. 電源・動作スイッチを「OFF」が上になるようにした後、つまみを六角ドライバ(2.5)で外します。



4. 手動つまみを六角ドライバ(1.5)で外します。
5. ケースの下部を横に広げながらケースを上を外します。
6. ヒューズボックスのフタを開けてタイムラグヒューズ F-102 SGA-1A を交換し、フタを閉めます。



重要

指定のヒューズ以外は使用しないでください。故障の原因となります。

7. ケースを被せ、ねじで固定します。
8. 電源・動作スイッチのつまみ、手動つまみを取り付け、それぞれのねじに合った六角ドライバで固定します。
9. 電源・動作スイッチを 45 度左に回して正常に動作することを確認します。

重要

ヒューズがたびたび断線する場合は本器の故障が考えられます。販売店または当社サービス窓口(裏表紙参照)へご連絡ください。

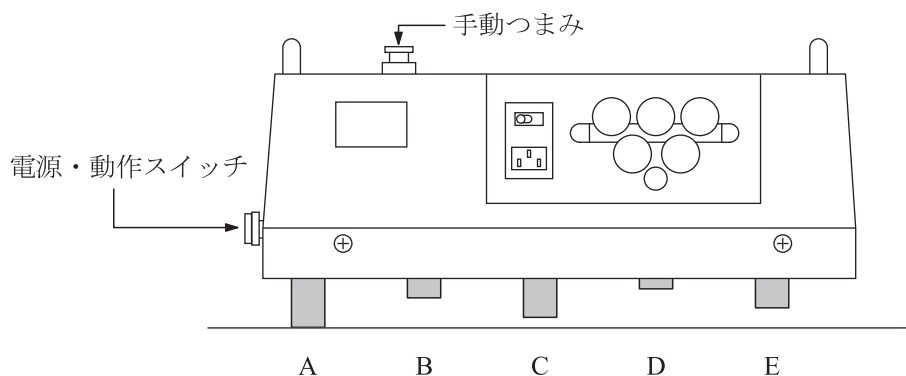
操 作

手動つまみの操作

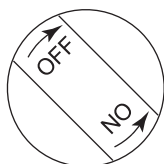
手動つまみの操作のときは、電源を接続しないでください。

手動つまみを回すことでハンマを手動で落とすことができます。

ハンマの落ちる順序はA、C、E、B、Dです。

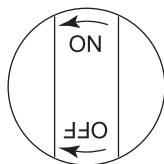


電源・動作スイッチを上下運動(スタンバイ)の位置で手動つまみを操作すると、ハンマは床まで落ちないで上下運動をします。



電源・動作スイッチ
上下運動(スタンバイ)の位置

電源・動作スイッチを衝撃運動の位置で手動つまみを操作すると、ハンマは床まで落ちる上下運動をします。



電源・動作スイッチ
衝撃運動の位置

操作手順

1. 準備の章の準備作業 (4 ページ~7 ページ) をすべて終了させます。
2. 電源・動作スイッチを 45 度左に回して (スタンバイの位置)、ハンマの上下運動を確認します。
3. 電源・動作スイッチを左に回して「ON」が真上になるようにします。
ハンマが衝撃運動を始めます。
4. 測定を中断する場合は、電源・動作スイッチを右に回し、スタンバイの位置にします。

重 要
電源・動作スイッチをスタンバイの位置にすると、ハンマが床から離れた状態で止まります。ハンマが床に落ちたままの場合は定められた性能を維持できない可能性があるため、販売店または当社サービス窓口 (裏表紙参照) で点検を受けてください。

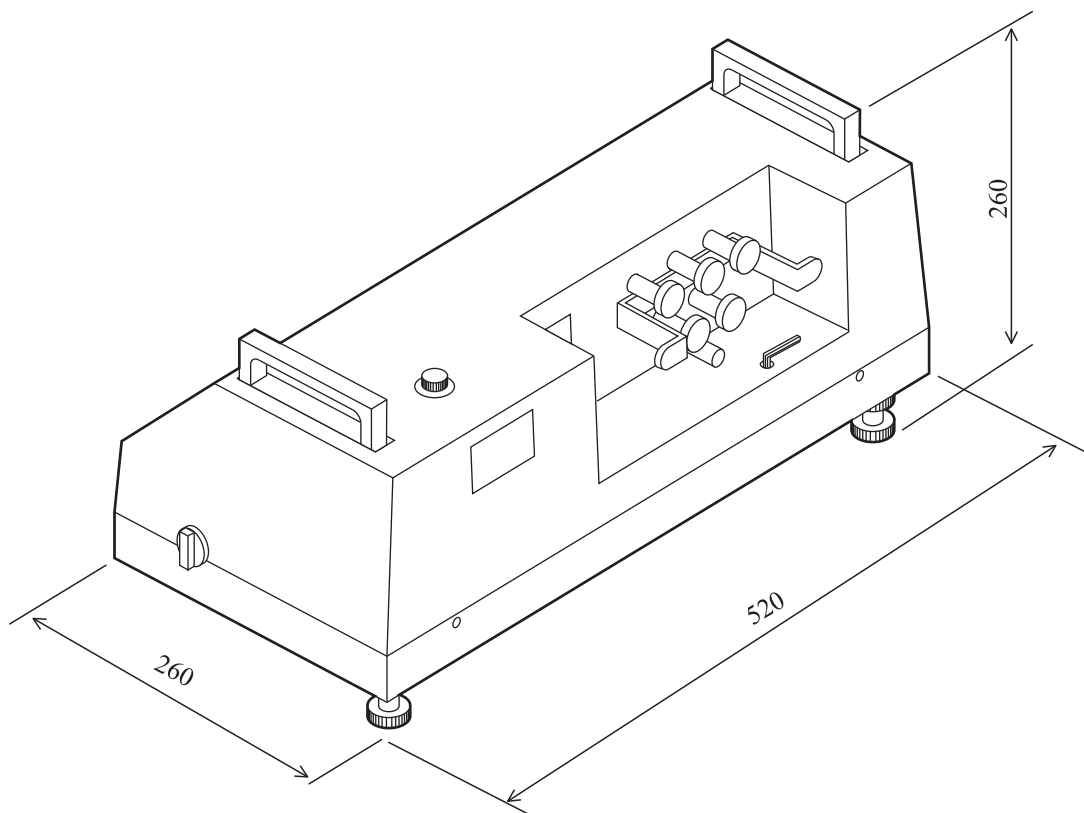
5. 終了する場合は、電源・動作スイッチをオフ (「OFF」が真上になる) にします (ハンマがロックされます)。

仕 様

適用規格	JIS A 1418-1 : 2000、ISO 140-7 : 1998
ハンマ	円柱型 10 cm 間隔で一直線上に 5 個配列
ハンマヘッド	ステンレス鋼および旧 ISO 規格 (ISO 140-7 : 1978) ゴム
ハンマ質量	500 g \pm 5 g (ハンマヘッドを含む)
衝撃回数	10 回/秒
床面衝撃速度	88.5 cm/秒
電源	AC 100 V \pm 10% 50 Hz/60 Hz 約 80 VA
寸法、質量	約 260 (H) \times 520 (W) \times 260 (D) mm (突起物を含む) 約 17.5 kg (付属品を含む)

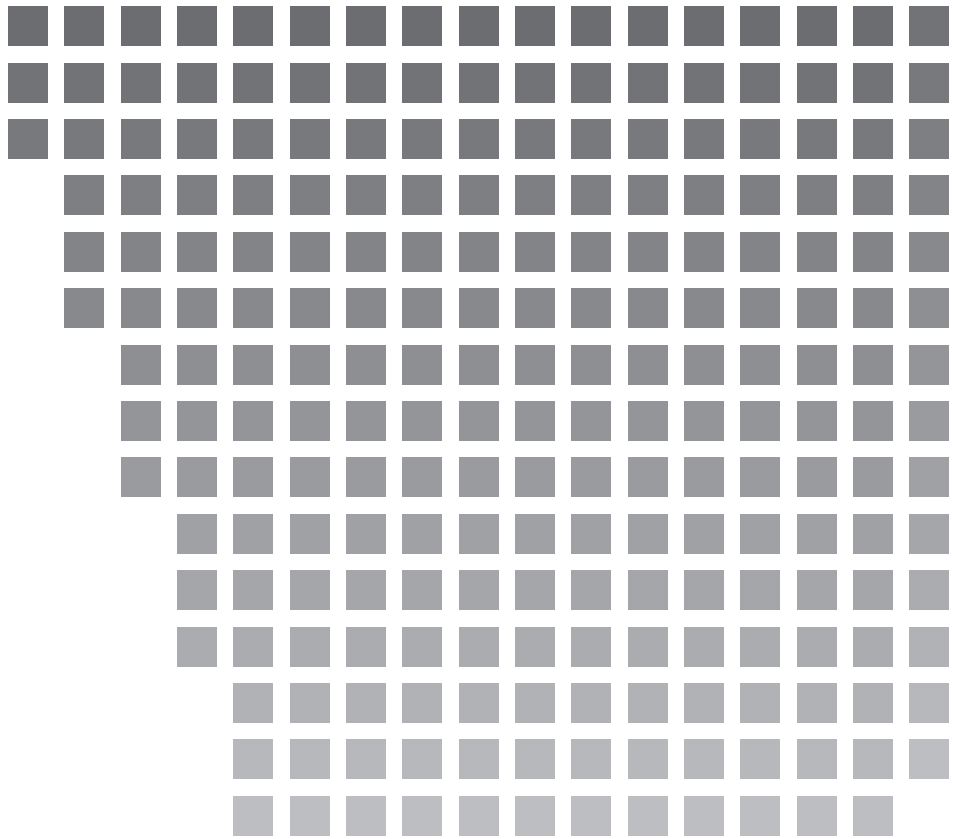
付属品

高さゲージ	1
旧 ISO 規格 (ISO 140-7 : 1978) ゴムハンマヘッド	5
電源コード	1
タイムラグヒューズ (1 A)	1
六角ドライバ (1.5)	1
六角ドライバ (2.5)	1
取扱説明書	1
内容品明細表兼リオン製品保証書	1



单位：mm

外形寸法図



リオン株式会社

<http://www.rion.co.jp/>

本社／営業部

東京都国分寺市東元町 3 丁目 20 番 41 号
〒185-8533 TEL (042)359-7887 (代表)
FAX (042)359-7458

サービス窓口

リオンサービスセンター株式会社
東京都八王子市兵衛 2 丁目 22 番 2 号
〒192-0918 TEL (042)632-1122
FAX (042)632-1140

東日本営業所 さいたま市南区南浦和 2-40-2 南浦和ガーデンビルリブレ
〒336-0017 TEL (048)813-5361 FAX (048)813-5364

西日本営業所 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 5 号 横山ビル 6F
〒530-0001 TEL (06)6346-3671 FAX (06)6346-3673

東海営業所 名古屋市中区丸の内 2 丁目 3 番 23 号 和波ビル
〒460-0002 TEL (052)232-0470 FAX (052)232-0458

九州リオン(株) 福岡市博多区店屋町 5-22 朝日生命福岡第 2 ビル
〒812-0025 TEL (092)281-5366 FAX (092)291-2847